

第15回 日本てんかん学会九州地方会 (on the web)

プログラム・抄録集

日時：2020年7月11日(土曜日) 10時40分～18時10分

※9時30分から受け付け開始。

会場：Google meet

会長：久留米大学医学部 神経精神医学講座 本岡 大道

実行委員：安元 眞吾、伊東 裕二、増本 政也、森田 武伯、内野 さとみ

参加費：1000円 年会費：2000円

講演要項

- 講演時間：8分間
- 質疑(事前質問)：3分間
- 各セッションの最後の演題終了後、グループチャット方式を利用した質疑：10分間
- 発表形式：Google meet を使用し、ホスト側による画面共有形式※で発表
※ウェブ配信上のトラブルを避けるために、事前に発表ファイルを送って頂き、原則ホスト側から発表する形としました。
- アプリケーション：Microsoft PowerPoint, Google スライド(Win. Mac 共)

日本てんかん学会
九州地方会
15TH
KURUME, JPN

2020年7月11日土曜日
午前9時30分～受付

WE CAN BEAT THE CORONAVIRUS

演題締め切り: 2020年6月14日

○ランチョンセミナー
河村 達先生
奥沢病院名誉院長
昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門名誉教授

○特別講演
谷口 憲先生
国立精神・神経医療研究センター病院精神科医長
を予定しています

会長: 本岡大道 事務局長: 安元眞吾
久留米大学医学部神経精神医学講座
福岡県久留米市旭町67
電話 0942-31-7564 Fax 0942-35-6041
Email: ktenkan2020@gmail.com
HP: https://bit.ly/2XxGTUU

連絡先：kjes@9shu-epileptologist.net

学会 URL: <http://9shu-epileptologist.net.202004301601059167982.onamaeweb.jp/index.html>

ご挨拶

この度、第 15 回日本てんかん学会九州地方会を 2020 年 7 月 11 日に久留米大学医学部神経精神医学講座主催で行われることになりました。今年は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染拡大という特別な状況により、ウェブ配信による学会開催という選択を余儀なくされました。

個人的には、コロナのことがあるから中止という頭は端からなく、『よし、じゃウェブでやる』という考えでした。多少、無謀な面もあり、こういう時には周囲にたしなめ役がいるものですが、幸いなのか、不幸なのか、当教室のてんかんグループ(安元、伊東、増本、森田)に異論を唱える者がなく、黙って付いてきてくれました。彼らには本当に感謝しています。

今回、本学会のホームページを立ち上げ、会員のデータベースもファイルメーカーで整備しました(教室内野秘書のおかげです)。そして、7.11 いよいよ学会が開催されます。若干、自分だけが盛り上がっている感がありますが、コロナウイルスに一矢報いるためにもみなさんで大いに盛り上がり、学会を成功させましょう。

最後に、河村 満先生、谷口 豪先生の両先生方には今回のウェブ配信にご賛同頂き、それぞれランチョンセミナー、特別講演でご講演頂くことになりました。心より感謝申し上げます。

また、一般演題にご応募を頂きました先生方、本学会の開催にご協力頂きました方々にもこの場を借りて感謝申し上げます。もちろん、今回の学会にご参加頂いた皆様にも感謝いたします。

ありがとうございます。

第 15 回日本てんかん学会九州地方会

会長 本岡 大道

第 15 回 日本てんかん学会九州地方会プログラム

☆ 脳波クイズ (10:40 - 11:20)

☆ ランチョンセミナー (11:30 - 12:30)

☆ 一般演題 (13:00 - 16:43)

☆ 特別講演 (17:10 - 18:10)

開会の辞 10:35

特別企画 10:40 - 11:20

『脳波 QUIZ』

answerer 伊東 裕二 (いとう ゆうじ) 久留米大学医学部神経精神医学講座

ランチオンセミナー 11:30 - 12:30

共催：ユーシービージャパン株式会社

座長 本岡 大道 (もとおか ひろみち) 久留米大学医学部神経精神医学講座

『てんかんと認知症 神経心理学的アプローチ』

演者 河村 満 (かわむら みつる)

奥沢病院 名誉院長

昭和大学医学部 内科学講座 脳神経内科学部門 名誉教授

～休憩 12:30 - 13:00～

セッション A 小児科-1 13:00 - 13:43

座長 本田 涼子 (ほんだ りょうこ) 長崎医療センター小児科

① ケトン食療法とペランパネルの併用が著効した1歳例

○後藤 康平(ごとう こうへい)、八戸 由佳子、石井 隆大、弓削 康太郎、永光 信一郎、
山下 裕史朗
久留米大学小児科学講座

② ハイリスク早産児に合併するてんかんの特徴

○鳥尾 倫子(とりお みちこ)¹、岩山 真理子¹、井上 普介¹、落合 正行¹、平良 遼志¹、
米元 耕輔¹、一宮 優子¹、園田 有里¹、實藤 雅文¹、鳥巢 浩幸²、吉良 龍太郎³、酒井 康
成¹、大賀 正一¹
1. 九州大学病院・小児科、2. 福岡歯科大学小児科、3. 福岡市立こども病院・小児神経科

③ 抗てんかん薬整理が有用であった進行性ミオクローヌステんかんの1女児例

○福田 智文(ふくだ ともふみ)¹、重田 英臣¹、柴原 淳平¹、五十嵐 亮太¹、石井 雅宏¹、
楠原 浩一¹、下野 昌幸²
1. 産業医科大学 小児科、2. エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター

セッション B 脳神経外科 13:45-14:28

座長 浜崎 禎 (はまさき ただし)

熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座

④ 重度知的障害を伴う薬剤抵抗性てんかん患者に対する成人期でのVNS導入

○佐藤 雅紀(さとう まさのり)¹、花谷 亮典^{2,3}、東 拓一郎²、細山 浩史¹、丸山 慎介^{3,4}、
米衛 ちひろ^{3,4}、大坪 俊昭⁵、吉本 幸司²
1. 鹿児島市立病院脳神経外科、2. 鹿児島大学脳神経外科、
3. 鹿児島大学病院てんかんセンター、4. 鹿児島大学小児科、5. 藤元総合病院脳神経外科

⑤ 未治療の特発性全般てんかんにおける覚醒時脳波での棘徐波検出確率を数学的理論で推測してみた

○小野 智憲 (おの ともり)、本田 涼子、渡邊 嘉章、池田 憲呼、里 龍晴、犬塚 幹、松尾 光弘、馬場 史郎、内田 大貴、戸田 啓介、馬場 啓至
国立長崎医療センター、長崎てんかんグループ

⑥ 頭皮上脳波では焦点診断が困難であった、特徴的な運動亢進発作を呈した前頭葉てんかんの1例

○末吉 博之 (すえよし ひろゆき)¹、浜崎 禎¹、宮崎 愛里¹、松原 崇一郎²、原田 美保³、上田 隆太¹、河野 達哉¹、赤松 直樹⁴、武笠 晃丈¹

1. 熊本大学病院脳神経外科、2. 熊本大学病院脳神経内科、3. 熊本大学病院中央検査部、4. 福岡山王病院脳神経内科

セッション C 小児科-2 14:30-15:13

座長 岡成 和夫 (おかなり かずお) 大分大学小児科

⑦ 原因不明の発達性てんかん性脳症、知的発達症で経過し、CUL3 遺伝子異常が同定された一例

○松倉 幹 (まつくら まさる)¹、中島 光子²、三橋 里美³、加藤 光広⁴、才津 浩智²、松本 直通³、吉良 龍太郎¹

1. 福岡市立こども病院小児神経科、2. 浜松医科大学医学部医化学講座、3. 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学、4. 昭和大学医学部小児科学講座

⑧ *KCNH5* 遺伝子変異をもつ発達性てんかん性脳症の1例

○木許 恭宏¹ (きもと やすひろ)、前田 謙一¹、池田 俊郎¹、石井 敦士²、廣瀬 伸一²、盛武 浩¹

1. 宮崎大学医学部小児科、2. 福岡大学医学部小児科

- ⑨ 新生児期に発症し Na チャネル阻害剤が有効であった SCN1A 変異を伴う Lennox-Gastaut 症候群の 1 例

○松尾 宗明 (まつお むねあき)¹、中村 拓自¹、一ノ瀬 文男¹、加藤 光広²、板井 俊幸³、
宮武 聡子³、松本 直通³

1. 佐賀大学小児科、2. 昭和大学小児科、3. 横浜市立大学遺伝学

セッション D 脳神経内科 15:15-15:58

座長 重藤 寛史 (しげとう ひろし)

九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野

- ⑩ 複雑幻視を認めた高齢者てんかんの一例

○豊田 知子 (とよた ともこ)、岩中 行己男、岡田 和将、足立 弘明
産業医科大学 脳神経内科

- ⑪ 多彩な焦点起始の発作型を示した全般てんかんの一例

○鎌田 崇嗣 (かまだ たかし)、三好 絢子、萩原 綱一、赤松 直樹

1. 福岡山王病院脳・神経機能センター、2. 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

- ⑫ 発作時頻脈・発作時徐脈の双方を記録しえた一例

○岡留 敏樹 (おかどめ としき)¹、向野 隆彦¹、横山 淳¹、藤井 敬之¹、渡邊 恵利子²、
酒田 あゆみ²、重藤 寛史³、山崎 亮¹

1. 九州大学大学院医学研究院 神経内科学、2. 九州大学病院 検査部、

3. 九州大学大学院医学研究院 保健学部門検査技術科学分野

セッション E 精神科 16:00 - 16:43

座長 前川 敏彦 (まえかわ としひこ) 天久台病院

- ⑬ 抗てんかん薬服用中に、新型コロナ治療候補剤を併用する際の薬物相互作用と併用時注意を要する合併症薬

○藤村 貴美子 (ふじむら きみこ) まさおか調剤薬局

⑭ ラコサミドによる精神症状をきたした症例

○増本 政也（ましもと まさや）、伊東 裕二、安元 眞吾、本岡 大道、内村 直尚
久留米大学医学部神経精神医学講座

⑮ てんかん外来で経験した脳波判読のピットフォール

○前川 敏彦（まえかわ としひこ）、渡辺 裕貴、平良 直樹
天久台病院 精神科

～休憩 16:43 - 17:10～

特別講演 17:10 - 18:10

座長 安元 眞吾（やすもと しんご） 久留米大学医学部神経精神医学講座

『PNES（心因性非てんかん性発作）の診断・初期フォローアップについて』

演者 谷口 豪（たにくち ごう）

国立精神・神経医療研究センター病院 精神科

国立精神・神経医療研究センター病院 てんかんセンター